

生涯学習施策の体系図

生涯学習の柱

I

《学ぶ》

生涯学習の
機会や場の充実

II

《つながる》

生涯学習活動の
支援体制の充実

III

《生かす》

生涯学習の
成果の活用

目指す方向

1 人生100年時代を見据えた
学びの推進

2 生涯学習機会の提供

3 家庭・学校・地域の連携

1 広報・情報提供体制の充実

2 関連施設の利活用

1 学校・大学との連携の推進

2 地域活動との連携の推進

3 地域人材の育成

4 公益活動の充実

5 持続可能なまちづくり

施策の展開

- ① 全世代型を対象にした事業の充実
- ② 乳幼児期を対象にした事業の充実
- ③ 高齢期を対象にした事業の充実

- ① 各種講座の提供
- ② 学習成果の発表の場の確保

- ① 家庭教育支援の充実
- ② 学校での学びの充実
- ③ 地域での教育の充実
- ④ 連携による事業の充実

- ① 学習情報発信のあり方
- ② 人材の活用と育成
- ③ 相談体制の充実

- ① 利用者ニーズの対応
- ② 生涯学習関連施設の利活用

- ① 各種教育機関との連携
- ② 学生と市民との学習交流活動の推進

- ① 地域の歴史と文化を学ぶ機会の充実
- ② コミュニティ組織の育成・強化

- ① 地域の人材の把握
- ② リーダーや指導者の育成

- ① 公益活動の推進と支援
- ② 地域行事への参加の促進

学びの循環による魅力のある地域づくり